

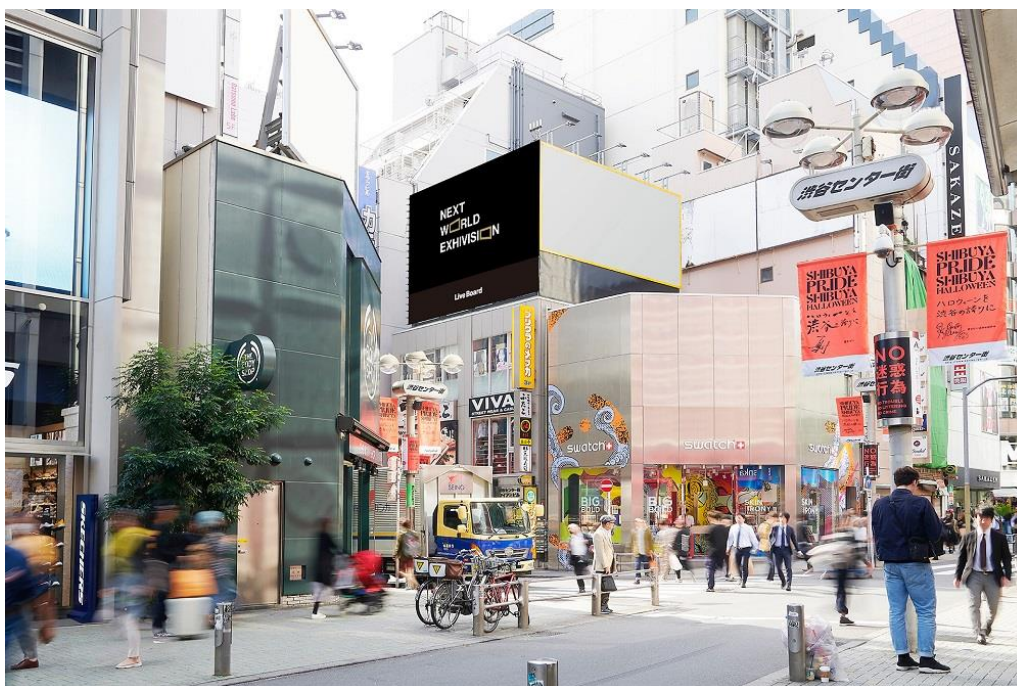
## コロナ禍で減少したアートとの接触機会を LIVE BOARD のデジタル OOH を使用して街中に創出

文化庁メディア芸術祭の「Next World ExhiVision」を LIVE BOARD のデジタル OOH の力で広報支援

株式会社 LIVE BOARD(以下、LIVE BOARD)は、コロナ禍の状況において、アートに触れる機会が減少した生活者と活動の場所を失ったアーティストをつなぎ、芸術作品の発表の場として OOH\*1 を活用する「Next World ExhiVision」(ネクスト ワールド エキシビジョン)に、自社が管理する全国のデジタル OOH への作品配信で協力します。

「Next World ExhiVision」は、2020年9月19日(土)~9月27日(日)まで開催される第23回文化庁メディア芸術祭の広報企画のひとつで、電通アイソバー株式会社が企画・運営するプログラムです。

『日本の街、そして社会を、アートの力で鮮やかに』をテーマに、東京、北海道など8都市71カ所\*2にあるデジタル OOH にアーティストの作品を配信し、街中でアートに触れることができるアートショーケースを開催します。



### ■「Next World ExhiVision」開催の概要

期間: 2020年9月19日(土)~9月27日(日)(作品の放映時間は不定期です)

場所: 8都市(東京、北海道、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、福岡)71カ所のデジタル OOH

企画: 電通アイソバー株式会社 / 株式会社デビッドワッツ / 株式会社 LIVE BOARD

公式サイト: <https://www.next-world-exhivision.com/>

## ■文化庁メディア芸術祭

文化庁メディア芸術祭はアート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの 4 部門において優れた作品を顕彰するとともに、受賞作品の鑑賞機会を提供するメディア芸術の総合フェスティバルです。平成 9 年度(1997 年)の開催以来、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰するとともに、受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。

第 23 回は、世界 107 の国と地域から 3,566 点に及ぶ作品の応募がありました。文化庁メディア芸術祭は多様化する現代の表現を見据える国際的なフェスティバルと成長を続けています。また、文化庁では、メディア芸術の創造とその発展を図ることを目的に、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を国内外で広く紹介する多彩な事業を実施しています。海外・国内展開や創作活動支援等の関連事業を通じ、次代を見据えたフェスティバルを目指しています。<https://j-mediaarts.jp/festival/>

※1 OOH は、交通広告や屋外広告など、家庭以外の場所で接触する広告媒体の総称。デジタル OOH は、交通広告、屋外広告およびリテールショップなどに設置されたデジタルサイネージを活用した広告媒体を指す。

※2 2020 年 8 月 31 日現在の媒体数

**【各社概要】**

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 神内一郎
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル7階
営業開始日・創立日	2019年2月1日
主な事業	デジタルOOH広告配信プラットフォームの運営、デジタルOOH広告媒体の開拓、デジタルOOH広告枠の販売
ホームページ	<a href="https://www.liveboard.co.jp/">https://www.liveboard.co.jp/</a>

会社名	電通アイソバー株式会社
代表者	代表取締役社長 CEO: 得丸 英俊
本社所在地	東京都中央区築地 1-13-1 築地松竹ビル
営業開始日・創立日	2001年4月
主な事業	デジタルエージェンシー
ホームページ	<a href="https://www.dentsuisobar.com/">https://www.dentsuisobar.com/</a>

会社名	株式会社デビッドワッツ
代表者	代表取締役 竹川 潤一
所在地	東京都渋谷区富ヶ谷 1丁目 16番 2号
主な事業	クリエイティブコンサルティング